

人工股関節置換術を受けられる患者さんへ

患者氏名： さん

主治医署名：

受け持ち看護師署名：

月日(日時)	/	/	/	～	/	/	～	/	/	～	
経過(病日等)	手術前日	手術当日(術前)	手術当日(術後)	術後1～2日目	術後3～4日目	術後5～6日目	術後7日目	術後8～9日目	術後10日目	術後11日目	退院まで
達成目標	・手術の必要性を理解し、安心して手術に臨むことができる		・全身状態が安定する ・転倒転落を起こさない ・痛みのコントロールができる ・傷の腫れ・発赤・熱感・出血が見られない ・積極的にリハビリに参加することができる。 ・危険姿勢(脱臼肢位)の理解ができる。								・38度以上の熱や創部の赤み・腫れがない
治療・薬剤 (点滴・内服)リ ハビリ	・午前手術の場合は昼に、午後手術の場合は眠前に下剤を内服します。		・手に痛み止めのテープを貼ります。 ・午後から手術の場合は点滴をします。		・食事を半分以上食べることができれば持続点滴終了です。		・主治医の指示があるまで毎日血栓予防のための内服薬があります。				
					・抗生剤の点滴が数日間あります。 ※状態に応じて抗生剤の内服に変更になる場合もあります。						
							・医師の指示のもと、必要に応じてリハビリが開始になります。				
			・足に血栓予防のための機械や靴下を装着します。		・歩行の機会が増えたら、血栓予防のための機械や靴下は除去できます。						
処置	 手術は (:) 時からです。		・傷の状態を確認します。				・ガーゼ汚染の確認後、ドレッシング剤を張り替えます。		・抜糸します。 * 抜糸の時期は創部の状態によって前後することがあります。	・透明なシールを剥がします	
検査	・必要時採血・検尿・レントゲン・呼吸機能・心電図検査・エコー検査があります。		・採血があります。		適宜採血・レントゲン ※創部の状態に応じて適時採血・レントゲンがあります。						
活動・安静度	・主治医の指示によって制限があります。		・ベッド上安静です。 足に脱臼予防の三角枕をはさみます。体位変換をお手伝いします。		・痛みに合わせて翌日には離床します。 ・状態に合わせて、車椅子移乗や歩行器歩行の練習を開始していきます。						
食事	・特に制限はありません。(夕食まで通常通り摂取します)		絶食・絶水指示があります。 絶食 前日(:) 絶水 当日(:)		・腸の動く音が確認できれば水を飲むことができます。看護師が確認します。		・食事が開始となります。				
清潔	・看護師の介助によりシャワー浴できます。				・身体拭きをします。		・医師の許可がおりれば、シャワー浴を開始します。※初回は看護師が介助し、入浴時の注意点を説明します。看護師が自立可能と判断すれば自立の方の時間帯にシャワー浴していただけます。				
排泄			・ベッド上で排泄します。(排便の際は差し込み便器を使用します)尿は管が入っていますので自然に排出できます。		・歩行状態に合わせて尿の管を抜きます。						
患者様及びご家族への説明・生活指導・リハビリ	・主治医から手術の説明があります。 麻酔科の介入があれば麻酔科からの説明があります。各種同意書をお預かりします。 ・看護師から入院生活、手術前後の説明を行います ・手術に必要な寝衣1着(浴衣)、タオル1枚、バスタオル1枚、テープ式おむつ1枚の準備をお願いします。		・手術終了後、主治医よりご家族へ経過を説明します。 ・手術後24時間以内は状態が変化しやすいため1-2時間毎に状態を観察します。 ・痛みがあるときは我慢せず看護師にお知らせください。鎮痛剤の使用や体位変換の介助などお手伝いします。		・退院後の生活について本人・家族の希望と医師の方向性を確認します。(必要に応じて地域医療連携室が介入し、転院調整を始めていきます。)			・看護師から退院後の生活について説明があります。(パンフレットを用いて説明します。)			

手術後、してはいけない動作、脚の動きがあるのでリハビリや看護師が説明します。

※病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります

※入院期間については現時点で予想される期間です

神戸医療センター 整形外科 2025.01作成

